**＜二次募集＞　2020年度　工学部セメスター派遣プログラム募集要項**

工学府・工学部学生国際交流プログラム小委員会・グローバル教育院

**標記につき、若干名を募集することになりました。申請期限は3月17日（火）16:30教務係です（事情によっては応相談）。奮ってご応募ください。**

（１）概要

東京農工大学は、世界トップクラスの大学を目指し、その教育活動を通して農学または工学の専門性を持ち、教養豊かで国際社会において活躍できるグローバル人材を育成していきます。

本プログラムでは、大学間交流協定を締結している外国の大学に本学の代表として学生を派遣することにより、諸外国の大学との国際連携を図るとともに、日本と外国との架け橋になり得る実践型グローバル人材の育成を目的として、アジア及びヨーロッパ地域における後学期一セメスター期間での、交換留学を実施します。本プログラムで得た経験を、今後の研究・進学・就職に活かして欲しいと思います。

（２）留学期間

　　2020年7月下旬／9月下旬　～　2021年1月下旬／3月上旬（予定）

　　（派遣先大学の学年暦に従うものとします）

1. 派遣先大学及び定員

KMUTTキングモンクット工科大学トンブリ校（タイ、バンコク） ：　5名程度

UTMマレーシア工科大学（マレーシア、ジョホールバル）　　　 　：

MJIITマレーシア日本国際工科院（マレーシア、クアラルンプール） ：　計5名程度

ITBバンドン工科大学（インドネシア、バンドン）　　 　　　　　　：

UIインドネシア大学（インドネシア、デポック）　　　　　　　　　：　計5名程度

UPDフィリピン大学ディリマン校（フィリピン、ケソン） 　　　　　：

DLSUデ・ラ・サール大学（フィリピン、マニラ）　　　　　　　　　：

SLUセントルイス大学（フィリピン、バギオ）　　 　　　　　　　　： 計5名程度

TUMミュンヘン工科大学（ドイツ、ミュンヘン）　　 　　　　　　　：

UGフローニンゲン大学（オランダ、フローニンゲン）　　　　　　　：

UnivPMマルケ工科大学（イタリア、マルケ） 　　　　　　　　：

UMモンペリエ大学（フランス、モンペリエ）　　　　　　　　　　　：

UoOオウル大学（オウル、フィンランド）　　　 ：

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　＜合計20名程度＞

（４）内容

　　　　・英語での授業履修による単位認定

（農工大での単位互換は所属学科及び委員会で定められたルールに基づく）

　　　　・ミニ卒業研究

　　　　　（派遣先大学においてスーパーバイザーのもとでのリサーチ・プロポーザル作成）

　　　　・自ら作る企業インターンシップ（支援・中継ぎはあり）

　　　　　（ヨーロッパの派遣先大学派遣を除く、2～3週間程度）

　　　　・現地体験、学生との交流など

1. 留学費用　550,000円～900,000円程度　（別途、奨学金支給の可能性あり）

・渡航費（往復航空券）

※一部を大学が負担する可能性あり（年度予算が確定するまで未定）

　（参考：2019年度は全員に渡航費の4.5割を一律負担。負担なしの場合も有り得る。）

・現地での生活費（食費や宿泊費、企業インターンシップ期間中のホテル代等）、移動費用（空港から宿舎までの往復、通学交通費、企業インターンシップ時の通勤費等）、海外旅行保険費用、パスポート取得費用、ビザ取得・解除費用、予防接種代、英語検定試験の受検料、その他留学にかかる費用は自己負担

※ 派遣先大学の入学料・授業料は免除

※ 現地での宿舎は、学内の寮、大学近くのアパート、ホームステイ等、大学によって異なります。

※ 留学中も休学せずに農工大に在籍（農工大の授業料は支払う）

1. 奨学金

希望する者は、各自で最新の情報を調べて、手続きを行ってください。

●JASSO海外留学支援制度奨学金

アジア：月7万円程度、ヨーロッパ：月8万円程度

※この奨学金は本募集とは別途申請の上、支給の可否が決定されます。

主な申請資格は以下の通り。

1. 前年度（2018年度）の成績をもとに計算したJASSO成績評価係数(GPA)が3.00満点で2.30以上である者

「計算式」

JASSO成績評価係数＝{(評価Sと評価Aの総単位数)×3＋(評価Bの総単位数)×2

＋(評価Cの総単位数)×1＋(評価Dの総単位数)×0)}÷(評価S～評価Dの総単位数)

1. 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者

※他団体等から留学のための奨学金を受ける場合、その奨学金の支給月額の合計額がJASSO奨学金の支給月額を超えなければ併願が可能。

●トビタテ！留学JAPAN（官民協働海外留学支援制度）

　月額12～20万円及び渡航費を支給。留学先での実践的活動が含まれていることが要件。

※企業インターンシップを実施しないヨーロッパは適用外。

※当奨学金とJASSO海外留学支援制度奨学金との併用は不可。

※2019年12月募集の13期までで本スキームは終了

●佐藤陽国際奨学財団（2018年度実績）

アジア圏のクォーター制の大学に6ヶ月以上派遣となる場合のみ対象。JASSOとの併用不可。月額８万円、渡航費25万円まで、予防接種等の交換留学一時金10万円等。工学部事務局への申請締切りは12月6日となっている点に注意（別途、本財団奨学金についてはWeb掲示板で案内あり）。

●「埼玉県発世界行き」奨学金支給制度(2018年度実績)

JASSOの奨学金での適用が不可の学生のみが対象（JASSOとの併用不可）。一律50万円を支給。

埼玉県民のみ。

1. 事前・事後研修（予定）

＜事前＞

・工学部特別講義I（IMS異文化理解）：1単位（調整中）

・工学部特別講義II（IMSアカデミック・イングリッシュ）：1単位

※ただし、派遣学生全員が集まることができる講義時間帯がない場合は、単位が出る講義と

しては実施しない。その場合は、随時オリエンテーションを実施（必須）。

　　　 ・派遣大学における事前オリエンテーション（渡航後）

＜事後＞

・成果報告会（3月上旬）での派遣報告会（ミニ卒研の発表等）：1単位（必須）

（８）応募・選考

(８－１) 応募資格

1. 本学工学部に正規の課程で学位取得もしくは卒業を目的に在学する者。
2. 2020年4月1日現在において、工学部3年に在学している者。なお、留学期間中も農工大に在籍すること。
3. 事前・事後研修に参加できること。
4. GPAが2.0以上（欧州の大学は2.7以上が望ましい）であり、派遣までに必修科目が取れていること。
5. 以下のいずれかと同程度の英語能力を有すること。

・TOEFL(ITP): 510点以上

・TOEFL(iBT): 64点以上

・TOEIC(IPテスト含む): 600点以上

・IELTS:5.0以上

・英検準1級以上

※ただし、フローニンゲン大学、ミュンヘン工科大学及びオウル大学への派遣希望学生は、以下の英語基準を満たす者に限る。

IELTS 6.5（各セクションで6.0以上）、TOEFL IBT92（各セクションで21以上）、TOEFL CBT237（各セクションで21以上）、TOEFL PBT580（各セクションで55以上）、TOEIC785点以上　（TOEFL ITPは不可）

※語学力を証明する書類を持っていない場合は、工学部2年生全員（必須）を対象に実施した2019年12月14日のTOEFL-ITP試験の結果を添付すること。

1. 本プログラムで得た経験を、今後の学業・進学・就職ならびにより長期の留学に活かそうとする意志があること。
2. 自身の留学について、主体的に責任を持って手続きを進めるという意識が高い学生であること。
3. 本学の代表として自立した行動の取れる人材であり、派遣先では協調性を持って生活･学業に関わる本学と派遣先のルールを遵守できること。

※派遣決定後であっても不適格とみなされる場合は派遣の取り消し、派遣中の場合は途中帰国もあり得ます。

※報告書提出等の義務や、第三国への不要な渡航禁止等の規定があります。

※上記の基準を満たさなくても、応募できる場合があります。その場合は事前に相談をしてください。

※応募する学生は、自身が所属している学科の教育委員（もしくは学科担当委員）に、事前に了承を得てください。（L科：浅野准教授、中澤准教授、F科：山崎教授、平野教授、G科：荻野教授、中野准教授、K科：山下教授、レンゴロ教授、M科：池田准教授、中本准教授、P科：鵜飼教授、室尾准教授、E科：清水大雅准教授、藤吉准教授、梅林准教授、S科：藤田桂英准教授、斎藤隆文教授）

※その際に、2019年度後期までの成績証明書のコピーを持参ください。

(８－２) 応募書類

1. 申請書(別添様式)
2. 英語能力を証明できるもの(コピー可)
3. 成績証明書
4. パスポート(既に取得している場合)（顔写真ページのカラーコピー）
5. 東京農工大学派遣事業応募に際しての承諾書兼誓約書

(８－３) 応募・選考スケジュール

　 説明会開催日程

【第1回】2019年12月11日(水)12:10～12:50、L1153号室（11号館5階）

【第2回】2020年1月7日(火)12:10～12:50、L1153号室（11号館5階）

募集期間：2019年12月11日（水)～2020年3月17日(火)（応相談）

＜二次募集＞申請書提出期限：2020年3月17日（火）16:30（応相談）

※保護者署名が間に合わない等の事情があれば、個別にご相談ください。

申請書提出先：工学部 学生支援室教務係(管理棟(Cube)1階)

第一次選考(書面)：2020年3月下旬

第二次選考(面接)：随時･･･書面審査通過者には、G教育院もしくは教務係より、面接日時等の詳細を連絡します

選考結果通知：2020年3月中（ただし本年度後期の成績によって派遣取り消しの可能性あり）

　 派遣交流会：2020年4月1日（水）必須

(８－４) 選考基準

1. 学業成績及び英語力
2. 留学の目的及び計画が明確であること
3. 留学後の進路に対する計画・意識が明瞭であること
4. 国際交流活動への意欲や資質が備わっていること
5. 派遣国及び派遣先大学での学業及び生活に必要な適応性があること
6. 本学の代表としての適正・資質が備わっていること

（９）問い合わせ先

(グローバル教育院)横森佳世准教授

13号館504号室：042-388-7622、[yokomorikayo@go.tuat.ac.jp](mailto:yokomorikayo@go.tuat.ac.jp)

（来室の場合はアポを取ってから来てください）

(工学部)学生支援室　教務係：新井係員

管理棟(Cube)1階：042-388-7010、[tkyomu1@cc.tuat.ac.jp](mailto:tkyomu1@cc.tuat.ac.jp)

2020年度　工学部セメスター派遣プログラム　申請書

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| フリガナ | (セイ) | | | (メイ) | | | 写真 |
| 氏名 | ( 姓 ) | | | ( 名 ) | | |
| 氏名 (ローマ字) | (※パスポートの表記又はパスポート申請予定の表記と同様) | | | | | |
| 住所 | 〒　　　- | | | | | |  |
| 所属 | 工学部 | 学科 | 年 | | 学籍番号 | 教員名（自署） | |
| 連絡先 | 携帯電話：  E-mail： | | | | | | |
| 出身高校 |  | | | | | | |
| 語学力 | ※証明書添付のこと  TOEFL(iBT・PBT・ITP)・TOEIC・IELTS・英検 点・級  ※いずれかに○をしてください。 ( 年 月 日時点) | | | | | | |
| 希望順位等 | |  |  | | --- | --- | | 大学名 | 希望インターンシップ先企業（TUMは除く）2社 | | 第一希望 |  | | 第二希望 |  | | 第三希望 |  | | | | | | | |
| 希望する  研究テーマ | キーワードのみ： | | | | | | |
| 国籍\* | (外国籍の場合、永住許可：有・無) | | | | | | |
| 奨学金受給状況 | 現在受給している奨学金：　有・無  （有を選択した場合）　奨学金名称：  　　　　　　　　　　　　　　併給：　可・否　　　月額　　　　　　円 | | | | | | |
| 保護者の 同意 | 上記申請者が、東京農工大学セメスター派遣プログラムに参加することに同意します。  年　　　月　　　日　　　　　　　保護者氏名： (自署) | | | | | | |

\*奨学金要件確認、ビザ要件確認のため使用

◆留学プロポーザル◆

|  |
| --- |
| ●志望動機  ●自己PR  ●将来の計画、グローバル活動への抱負等  ●派遣先大学で行いたい研究、学びたいこと等  研究キーワード（英語で）＞  ●希望するインターンシップ先企業・団体へどのようにアプローチしていくか  　（希望する国ごとに記載） |

**◆締　切：2020年3月17日(火)16:30（応相談）**

◆提出先：工学部　学生支援室　教務係